

2025 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	重富真一
演習テーマ	問い合わせる=考える=創造する
内容と 卒業論文の 指導方針	(卒論のテーマ) 各自の関心、問題意識に沿って設定する。 (卒論指導の方針) 卒論を作成する作業を通して、解決されねばならない社会の問題は何か、その問題に対してどのような問い合わせ立てて、どうやって答えを出せばよいかを考え、他者に説得的に伝わるよう文章にする訓練をする。卒論を書くという形はとっているが、それは何か新しいものをクリエイトする作業のひとつである。
メール・アドレス	shige103@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	学生の必要に応じて適宜設定する
授業概要	基本的に卒論テーマについて自分が調べてきた内容をゼミで報告し、他の学生や教員のコメントを受けるというスタイルをとる。
学習目標	「社会科学の論文を書く」という経験を通して、現状に対して疑問をもつ力、科学的な思考方法、情報の収集と整理方法、そして論述の方法を学ぶ。 そして” Only One” の作品を作ろう！
授業計画	以下のようなスケジュールで卒論を作成していく。 4-5月：卒論の Research question を固める。 6-7月：関連する先行研究や予備的調査をおこない、卒論の大まかな骨子を作る。 (夏休み中、各自でデータ収集をおこなう) 9月：ゼミ合宿で春学期と夏休みに集めたデータを発表する。 10-11月：データ収集と卒論の詳細な骨子作成 12月：卒論の執筆。
予習	報告課題について準備する
復習	ゼミで指摘された課題に取り組む
授業に関する 注意事項	・ゼミでは積極的な発言を求める。他のゼミ生の報告に質問し、コメントすることは、報告者へのリスペクトである。 ・オフィスアワーを積極的に利用して、教員を「有効活用」すること。
教科書	特に定めない
参考書	特に定めない
成績評価の基準	ゼミへの参加度（報告と発言など）40%、卒論への取り組み状況 60%
関連 URL	なし
認定留学期間中の 遠隔指導	<input checked="" type="checkbox"/> / 否 / その他()
備考	演習は木曜 4限であるが、時間を延長しておこなうことがある。